

月刊

税理士事務所

CHANNEL

●監修●
ミロク会計人連合会

2013.4

No.380



撮影:片山 和博
タイトル:折尾駅
場所:福岡県北九州市

4

- 事務所訪問 ● 窪田伸一税理士事務所 ……2
- 九州の元気企業 ……5
- 中小企業の海外展開 ● (株)エルム / (株)えんグループ沖縄 ……8
- 百年企業 ● 伊勢屋旅館 / (有)粧屋本店 ……10
- ご当地自慢 特別編「復興の力」 ● 宮崎県都城市 ……12
- 連合会 INFORMATION ……14
- ミロクシステムQ&A ● 『ACELINK NX-Pro 会計大将 (よくあるお問い合わせ)』 ……15
- リレーエッセイ ● 九州ミロク会計人会 野崎地平 ……19

職員との「絆」を育みながら 地域おこしにも全力投球!!

事務所訪問



窪田伸一税理士事務所

感謝の気持ちと心配りで職員のモチベーションと業務効率の向上を図る

—— 設立時の状況についてお聞かせください。

窪田所長（以下、敬称略） 現在も勤務してくれている次長、職員とともに5人で開業しました。振り返ってみると、仕事もないのによく人を雇用していたなと思います（笑）。最初は少し苦戦しましたが、「ありがとう」の気持ちを忘れずに、常にお客様に喜んでもらうと地道に努力し続けた結果、お客様がお客様を呼び、顧問先数が増え、2年目には大手企業と顧問契約を結ぶことができ、徐々に職

鹿児島県大隅半島に位置する肝属郡肝付町。自然に囲まれ、畜産業と農業を主とする町です。窪田伸一先生は1995年に事務所を開業し、職員との信頼関係を大切にしながら顧問先を支援し続けています。また、最近では税理士業務のかたわら、地域おこしのNPO法人の理事長としても活躍されています。さっそく、窪田先生にお話を伺いました。



鹿児島県肝属郡肝付町富山1746番地
Tel.0994-65-7456 / Fax.0994-65-7451
設立 / 1995年
職員数 / 12名
導入システム / ACELINK NX-Pro

員の数も増えていきました。優秀な職員が事務所を支えてくれていますので、私は安心して外回りに出たり、さまざまな会合に出席することができます。

—— 事務所が順調に成長できた要因は何だったのでしょうか。

窪田 何と言っても職員の頑張りで。職員の努力がお客様の喜びを生み出していると言っても過言ではありません。ですので私は事あるごとに職員へ感謝の気持ちを表現するようにしています。職員やそのご家族の冠婚葬祭はもちろんですが、誕生日にも心ばかりの贈り物をします。職員のお子さんが私宛にお礼の手紙をくれたりするんですよ。それはすべて私の大切な宝物になっています。また、年の初めに職員た

ちを自宅に招いて盛大に新年会を開いたり、確定申告が終わったタイミングで職員が税理士会などから表彰を受けた時などには、みんなで集まってお祝いしています。心から感謝の気持ちを込めて職員に接することで信頼関係が育まれ、職員一人ひとりのモチベーションの向上や円滑な業務の遂行にもつながっていると思います。

——先生のご自宅は非常に立派で、メディアにも取り上げられたことがあるそうですね。

窪田 地元の棟梁が「せっかくだから100年後も残るような建物を造りたい」と申し出てくれたので、その心意気に乗ることにしました。完成した自宅は神社仏閣のような造りになっており、このあたりでは珍しいこともあって、時折、見学者が訪れることもあります。広い敷地ですので、休日には樹木の剪定、管理に汗水流しています。

——職員教育に関しては、どのようなことに留意されていますか。

窪田 何よりも大切に行っているのは元氣よく挨拶することです。もともと税理士事務所は「静かなところで少し冷たい」という一般的なイメージがありましたので、それとは反対に元氣満点の事務所を目指したいと思い、お客様が立ち上がり元氣に挨拶することを徹

底させています。職員は見事に実践してくれており、皆さんから大変好評です。

また、私は外出していることが多いので、職員には「ホウ・レン・ソウを徹底するように」と言い続けており、毎日、夕方までに日報を提出するように義務付けています。そして、私はその日報をその日のうちにチェックして、職員とコミュニケーションを取りながら指導し、急ぎの案件についてはすぐに対処するようにしています。翌朝からだに間に合わないようなこともあるので、日報の内容には細心の注意を払うようにしています。

そのほか、新しい知識やノウハウの習得にも力を入れています。とはいえ、私だけが研修に参加しても意味がないので、職員たちにも積極的に参加するよう促しています。特にMJSが主催する研修には人数制限がないので、参加できる職員は全員参加するように指示しています。

県内の専門家による「七士会」で士業ネットワーク化を構築

——他士業とのネットワークで顧問先の満足度を高めているそうですが。

窪田 15年ほど前に鹿児島県内の税理士と弁護士、司法書士、社会保険労務士の専門家7人による「七士会」とい

う任意団体を立ち上げました。私は商売抜きで出会った人とのご縁をとっても大切にしており、今では毎年出す年賀状も1500枚以上になります。その中で、7名の素晴らしい専門家と意気投合し「七士会」を立ち上げることができました。顧問先からの多様な相談事に適切に対応するには、専門家との連携が不可欠です。このネットワークが顧問先の経営者に安心感を与え、何でも相談することができる事務所として一層頼っていただけるようになったと思います。

——地元でもいろんな役割を担われているそうですね。

窪田 地元にも少しでも貢献したいという思いから、ご依頼いただいた役にはできるかぎり就くようにしています。基本的に人と会って話をするのが好きですし、人間関係を大事にしたいので「自分ができることなら何でもやる」という心持ちでいます。現在は南九州税理士会・理事、鹿児島地方裁判所所属・調停委員、鹿児島県行政書士会鹿屋支部・理事、登録政治資金監査人などを務めています。



事務所は大きく2部屋に分かれており、職員の皆さんは広々としたスペースで働かれています



お客様、そして職員に対する感謝の気持ちを常に忘れないという窪田先生

まちおこしNPOの理事長として肝付町の魅力を発信中

——NPO法人きもつき情報化推進センターの理事長も務めておられますが、これはどのような趣旨のNPOなのでしょう。

窪田 ポータルサイト「きもつき情報局」(<http://kimotsuki.info/>)を通して、肝付町の情報を発信する団体です。そもそも、肝付町は大隅半島の東部にある人口1万6000人の町で、05年に高山町と内之浦町が合併して誕生した町です。旧内之浦町はロケット打ち上げ施設などがあり、その他の宇宙関係の施設を持つ自治体と協定を結んで

いるのですが、知名度は正直言って高くありませんし、高齢化が進み人口も減少傾向にあります。そこで、きもつき情報局ではこの町の魅力を住民みずから発信し、U・I・Jターンの促進を図っていくようにしているのです。

——具体的にはどのような情報を発信されているのですか。

窪田 地域の「イベント」や「お勧めスポット」に「グルメ」、「移住者の情報」など、さまざまな角度から肝付町の魅力を発信しています。また、記事や写真だけでなく、動画による情報発信も行っています。たとえば、肝付町では正月に竹を燃やす「鬼火焚き」という伝統行事があるのですが、内容が地

税理士までの道のり

窪田先生は税理士になる前、税務署に28年ほど勤めていました。そのうち11年間は大阪局でしたが、その後に希望を出し、熊本や鹿児島など九州各地で勤務していたそうです。主に税務調査を担当しており、「スッポンの窪田」という異名を持っていたほど、徹底した調査を続けていました。おかげで、現在も「直感的に企業が不正を行っているかどうかを見極めることができますし、税務署がどのようなポイントをチェックするのかもわかります」と窪田先生。その後、管理職に就いた先生ですが、やはり現場で働きたいという気持ちが強く、1995年8月に税理士に登録し、地元の肝付町で事務所を開業したそうです。

域ごとに竹の根元を燃やして上の部分をお守りとして取るのか、すべて燃やしてしまうのかといった具合に、微妙に異なります。そこで、きもつき情報局では3つの地区の「鬼火焚き」をそれぞれ動画で紹介し、それらの違いが分かるように紹介しています。ニュースなどで報じられているよりも詳細な動画を見ることができ、評判も上々で

「鹿児島ホームページ大賞2012」に入賞することもできました。

——そのようなPRの効果は出ていますか。

窪田 もちろんです。たとえば先日、私のもとに近畿から「きもつき情報局を見て、肝付町に住みたいと思った」

という方が来ました。今後はこういった方々が気軽に遊びに来たり、移住を検討したりできるように、自治体などと連携しながら空き家情報などを充実させていきたいと思っています。

——MJSのシステムはいつ頃から使われていますか。

窪田 約3年前に他社のシステムから切り替えました。優れた機能がいくつもあります。2つのモニター画面で効率良く業務をこなせるのが非常に便利ですね。

——肝付町が元気になるように、さまざまな角度から企業や町を応援し続けてください。益々のご発展をお祈り申し上げます。

「オリジナリティ」を武器に、九州各地で活躍する

今回は、さまざまな分野において九州を拠点に国内外で活躍し、オンリーワンの技術や製品を提供する企業を紹介します。



テーマ：エコビジネス

(株) Growth Dream

参入相次ぐ電動2輪分野に革命、高性能モーター搭載バイクが話題

環境意識の高まりやガソリン価格の高騰で、電動車両の普及が進んでいる。2010年現在、国内におけるバイク、スクーターなど電動二輪車の市場規模は約9000台だが、15年には9万5000台と10倍以上に伸びる見込みという。これに伴い、大手のみならず中小企業からの参入も増えてきており、業界はいまや群雄割拠、開発ラッシュといったところだ。

(株) Growth Dream (グロースンドリーム) もそんな新規参入組の一つ。特色は、世界で1社だけ搭載を許された高性能モーターを搭載していることだ。

モーターは「TDM(多段式モーター)」と呼ばれるもので、複数の磁石と電機子コイルを同心円上に3段配列することにより、容積が小さくても大きな電磁出力とトルクを生み出すことができる。これを搭載すると「電動バイクの弱点である坂道もラクラク、走行距離も一気に伸びる」と中村隆則社長は説明する。

実際、TDMを搭載した業務用バイク「ガイアレイ」のスペックを見てみると、「定格出力600ワット、最高出力

テーマ：ニッチな専門性

JDC(株)

金属ロールの傷をなくした新技術を開発、世界各地でPR

自動車や家電の部品を形作る材料となる鋼板は、ロール状にまかれて製鋼所から出荷される。それが専門業者などで各製品の用途幅に応じて連続裁断され、スリット加工されて巻き取られた金属コイルとなり、各製造工場で利用される。

ところが、連続裁断した鋼板を巻き取る際に、表面にすり傷や汚れがついてしまうという悩みがあった。そこで、JDC(株)はコイルの芯にしっかりと



さらにシンプルで使いやすくなったテンション装置「RB21」

と巻く機能を持つテンション装置の構造に画期的な改良を加えたという。従来は鋼材を分厚い毛布で挟むだけ

だったテンション装置の重しをベルトコンベアー状にし、鋼板が進むスピードと同じ速度で動くようにして、摩擦を減らし鋼板に傷がつかないようにしたのだ。

しかし、新しい発想で80年に開発された世界初の傷がつかないコイル巻き取り装置「ベルトブライドル」が、市場に受け入れられるまでには時間がかかった。

その間、橋川義人社長は8ミリビデオで機械が動く様子を撮影し、映写機を持って各地を奔走して回ったという。80年代中盤からは、自ら編集した映像と軽妙な話術を武器に、海外での営業行脚を開始。すると、橋川社長のプレゼンテーションは、外国人の間で評判になり、海外35か国に納品するという実績に結び付いた。2012年10月27日には納入1000台達成と社名変更を記念し、九十九島遊覧船パールシークイーン号をチャーターして祝賀会を

開催。また、これを機にホームページも動画や画像を中心にリニューアルした。

「当社のような中小企業が生き残る道は、大手が参入しないニッチな専門分野に特化し、オンリーワンの存在として圧倒的なシェアを確保することにある」という橋川社長は、まさに世界の市場を開拓することでビジネスをモノにしてきた。

今後は中国市場をメインに、インド、インドネシアにも販路を拡大する。そのフロンティア・スピリットはいまも健在だ。



橋川義人社長

JDC(株)

長崎県佐世保市千原町5-29
Tel. 0956-34-7500 / 設立1968年
www.jdc-inc.co.jp/



家庭用コンセントで充電も可能、4時間ほどで完了する

4500^{ワット}、1回の充電で120^{キロメートル}以上走行可能」とある。パワーはガソリンタイプでいうと90ccくらいは出るだろうか。いわゆる原付バイクとは段違いで「登坂角度は20度以上」となっている（日本では法律上、14度以上の坂はつくることができない）。おまけに燃料費も「ガソリンバイクに比べ6分の1」とコストパフォーマンスにも優れている。現在は九州のみで限定販売中だが、「評価は上々。来年には全国販売も開始できる見込みだ」という。

ところで、このTDMを開発したのは韓国のメーカーだという。中村社長によると「そのメーカーの社長が釜山の貿易商を通じて、長崎県内の商社経由で持ち込んだ」そう。そして、その韓国メーカーの社長は「韓国製でなく日本製として売って勝負したい。日本市場で認められれば世界をとれるはずだ」と言ったという。そこで、機械

設備会社に勤めた経験を持ち、半導体部品製造事業も展開している中村社長にこの話が持ち込まれた。

大手家電は韓国メーカーに水をあけられてしまったという報道が世間を騒がせているが、メイド・イン・ジャパンの信頼はまだまだ健在のようだ。日韓のタッグが、今後どのようにビジネスを展開していくかが注目される。



中村隆則社長

(株)Growthn Dream
熊本県上益城郡益城町原田2020-3
テクノリサーチパーク内
テクノインキュベーションセンターA-1
TEL 096-285-6459 / 設立2011年
www.growthn.com/

テーマ..伝統工芸
(有)小倉クリエーション
今に生きてこそ伝統の価値がある
小倉織のブランド化を図る

「小倉織」は豊前小倉を代表する織物として知られていたが、昭和初期に生産が途絶えたため、知る人が少なくなっていた。

小倉クリエーションは、復元された小倉織を「縞縞(SHIMA-SHIMA)」としてブランド化し、アパレルからインテリア用品、ファッション小物、和

風小物、記念品、ノベルティグッズなど幅広い製品を取り揃えている。また、ブランドの国際展開を進めていることでも注目を集めている。

渡部英子社長は「あえて小倉織の表記がなくても、製品の良さがストレートに伝わるモノづくりにこだわった」と話す。伝統を表に出すのでは

なく、デザインや品質を前面に出して事業展開を進めたのだ。その結果、同社の製品は高い評価を受けるようになり、JR九州の列車やホテルの室内デザインにも採用されているという。

そもそも、小倉織は徳川家康が愛用したことで知られ、夏目漱石の『吾輩は猫である』をはじめ、明治の文豪の作品にも登場する。経糸(縦糸)が多く、丈夫でなめらかな木綿の織物で、もともとは武士の袴や帯として織られていたという。そして、明治時代には男子学生の夏の制服として、「霜降り」と呼ばれるグレー無地の小倉織が製造され、小倉木綿、小倉服の名で全国に広がったそう。

これを現代にのみがえらせたのが渡部社長の姉、染織家の築城則子さんだった。小さな小倉織の布の断片から2年近くの試行錯誤を繰り返して、84年に手機で織って復元した。これを渡部



立体感あふれるたて織が特徴の小倉織「縞縞」ブランド

社長がインテリアにも対応できる機械織りの汎用品として展開したのだ。

08年には経済産業省の生活関連ブランド育成事業「sozo.com」海外出品商品に選ばれ、ドイツの見本市に出品している。10年は経産省の「JAPANブランド」にも選ばれた。素材の発掘と展開に独創性を発揮した「縞縞ブランド」は世界を舞台に広がっている。

渡部社長は「これからも積極的な挑戦を続けていく」と力強く話している。



渡部英子社長

(有)小倉クリエーション
福岡県北九州市小倉北区
大手町3-1-107
TEL 093-561-0700 / 設立1996年
http://shima-shima.jp/



走行型画像計測車ミーム

テーマ…インフラ整備 計測検査(株)

父の熱い遺志を継いで 走行型トンネル点検システムを開発

日本国内には道路だけで8700本のトンネルがある。その多くは建設後30～50年が経過しており、保守点検の効率化、コスト削減が課題となっている。

そこで注目されてきたのが、計測検査(株)の開発した「走行型画像計測車 MIM (ミーム)」だ。15台の「マルチアイカメラ」と独自の画像処理技術を搭載し、0.2ミリ幅までひび割れが確認できる計測車だ。これにより、交通規制をせずに時速50キロ程度で車を走行させながら、短時間で効率よく点検を行うことが可能になった。

「従来は目視が主で全長1キロメートルのトンネルの点検に1カ月もかかっていた。それがこの車を使えば、約1週間に短縮できる」と坂本敏弘社長は話す。

同社は70年代、各種構造物や機械設

備の総合診断を行う会社として創業。

高度経済成長期の波に乗って成長したが、90年代後半には規制緩和のありを受けて業績がダウン。そこで、新システムの開発で挽回を図ることにした。

ちょうどその頃、山陽新幹線の博多―小倉間にある福岡トンネルでコンクリート片が落下する事故が発生した。新幹線の屋根が破損し、上下線が停電、当時の運輸省は各地のトンネルの緊急点検を指示した。これを機に同社が開発した橋梁の床版点検装置をトンネルの保守点検に応用できないかと考えたのが創業者である坂本武前社長（当時）だった。

その後、後を継いだ坂本敏弘社長が産学官連携でさらに開発を重ね、ミームを完成させた。すでに時速80キロでの計測も実証されているという。その実績はすでに認められており、北九州市からは「オンラインワン企業」に認定されており、さらに最近では海外からも注目が集まっているという。



坂本敏弘社長

計測検査(株)
福岡県北九州市八幡西区
陣原1-8-3
Tel.093-642-8231 / 設立1974年
www.keisokukensa.co.jp/

テーマ…6次産業 (株)上沖産業

地元の農産物を漬物にして販売 地域力を結集して全国シェアを獲得

年間700トンは、これは上沖産業が1年間に生産するらっきょうの生産量であり、日本でもトップクラスの数字だ。国内に回るらっきょうの9割が中国産と言われるなか、同社は国産のらっきょうにこだわっているが、上沖廣美社長はらっきょう作りをあえて「めんどくさい」と表現する。

そもそも、らっきょうはドロの付いた状態で工場まで運ばれてくる。これを洗浄して、一つひとつ根を切って皮をむいていく。1日の作業は約2トで、70人のスタッフがフルに働く。そのため「人件費と手間、それに見合う収益を考えたらとても大手では手が出せない。だが、この『めんどくさい』作業が機械では出せない美味しさを生む。現にそのおかげで、全国の漬物通にも満足してもらえるようになった」と上沖社長は話す。

上沖社長は地元三股町の農家の次男。証券会社を辞めて30歳のときにUターンして漬物を作る同社を立ち上げた。当初、周囲は「上沖んとこの息子が突然戻ってきて何かはじめたぞ」などと冷やかだつたとか。が、いまではすっかり地元企業として定着。漬物の原

関東地方で大ヒットしている
万能おかず生姜

料はそのほとんどが地元の農家が生産したものという。そして、スタッフには地元の高校生や農家のOBなどを採用し、「地域皆で豊かになる」のを目標としている。

その精神は商品作りにもあらわれている。たとえば、十数年前にはこれまでに廃棄されていた規格外のごぼうを商品化し、農家の収益アップにも貢献したという。さらに1年前にはしょうがをみじん切りにして醤油と砂糖で味付けした「万能おかず生姜」が関東で大ヒットし、売上げが右肩上がりになっているという。

地域の力を結集したことで国産らっきょうの市場が急速に拡大したようだ。



上沖廣美社長

(株)上沖産業
宮崎県北諸県郡三股町
大字夢池468
Tel.0986-52-4521 / 設立1989年
www.kamiokisangyo.com

中小企業の海外展開

事業拡大に成功した海外進出事例

今号の特別企画として、海外で活躍し続ける2社を紹介。
各国で認められるようになるまでの道のりと今後の展望を伺った。

光ディスク修復装置で 世界シェアナンバーワンを獲得!!

(株)エルム



上空から社屋を望む

(株)エルムはDVDやCDなどの光ディスクの修復装置というニッチな分野で世界市場をほぼ独占しているトップ企業。海外事業を見事に成功させた宮原隆和社長は「市場に国内も海外も隔てはない。市場があると感じたから、躊躇なく海外ビジネスに打って出た」と話す。

同社が光ディスクの修復装置に本格的に参入したのは2001年。傷のついたディスクをサンドペーパーで削り、最後に鏡面を磨く過程を自動化するのと同時に、その際に発生する熱や粉塵を水で冷却・洗浄するというタイプの光ディスク修復装置を開発したのがきっかけだ。ちなみに、その最上位機種となるのは全自動修復装置「エコスー

パー」。ディスク1枚当たりわずか約15秒で修復することができるという。

同社が01年に光ディスク修復装置を売り出したところ、この手の修復装置は手動が主流だったこともあり、国内で一躍ヒット商品になったという。そこで、宮原社長は「これなら海外の市場でもヒットするはずだ」と、その翌年に米国の展示会にも出展したそう。

さらに、闇雲に展示会に出すだけではなく、同社にはある戦略があった。「事前に競合の米国企業が出展するブースを調べ、その目の前に出展した」のだ。結果、同社の装置は業界関係者に注目され、その競合企業からも「販売代理店になりたい」という申し入れを受けることに成功。心強いパートナーを得た同社の装置は、ディスクレンタルや中古販売市場の拡大とともに売れ行きを伸ばしていったという。

合弁先や提携先を最大限に活用

いまや37カ国で光ディスク修復装置を販売し、世界トップシェアを獲得した同社だが、海外でのビジネスを本格化させる時には商習慣の違いに頭を悩ませたという。そこで、宮原社長は「自分たちで商習慣が異なる国の従業員を雇い、意思疎通を図るのは困難だと考え、海外での具体的なビジネスは

合弁先や提携先を通して行うことにした」そう。同社は展示会で意気投合した企業と提携したり、合弁企業を立ち上げ、現在はアメリカの提携企業とスペインの合弁企業を通して、北米と欧州の市場にアプローチをかけているが、「今までに大きな問題はひとつも起きていない」という。

今後の展開については「光ディスク修復事業にこだわらない」と宮原社長は断言する。「中国や東南アジアといった市場はコピー文化が根強いいため、光ディスク修復装置の市場は伸びにくい。また、現在の主な市場である先進国ではデータ配信が主流になるため、光ディスクそのものが減っていくと考えられる」と分析しているのだ。そこで、同社では現在、LED照明などの新分野に挑戦中。「国内外のLED市場はまだまだ伸びているから、当社のオリジナル製品であるLED照明『エコノライト』や照明制御システム『エコネット』などの市場を開拓していきたい」と意気込んでいる。



宮原隆和社長

(株)エルム
鹿児島県南さつま市
加世田宮原2398番地
Tel.0993-53-6930
設立1980年
www.elm.jp

沖縄の味と家族的な雰囲気 アジア各国で人気飲食店を経営

(株)えんグループ沖縄

沖縄からアジア各地に沖縄料理、日本料理レストラン、居酒屋を出店して注目されている(株)えんグループ沖縄。又吉真由美社長は香港に拠点を置きながら、すでに沖縄と海外(中国、香港、マカオ、シンガポール、インドネシア)で25店を出店。今後も各地に出店を進め、最終的には100店舗にまで拡大させていく方針だという。

又吉社長は那覇市で飲食店を営んでいた両親の影響を受けて「自分もいつかは飲食店を開きたい」という夢を抱いていたという。当初は周りに外国人が多かったこともあって、アメリカでレストランを開く夢を描いていたそう。ところが、26歳で夫の故郷、香港に渡り、アジアでの飲食店経営が夢になった。

その夢の実現に向けて、又吉社長は香港で三畳一間の部屋を借りて、義兄の紹介でアパレル関係のビジネスをスタートさせた。そんなある日、久しぶ

りに沖縄の音楽を耳にして「自然と涙が流れて、心が揺さぶられた。そして、自身のアイデンティティーが沖縄にあることにあらためて気づき、沖縄の資源を生かした海外ビジネスを考えるようになった」という。

その後、又吉社長はまずシンガポ



従業員と家族のように接することで、信頼関係が生まれる

ルでレストランを立ち上げた。「香港の物件は家賃200万円〜400万円が当たり前。リカーライセンス(酒類販売のライセンス)も1年待ちという状況だった。そんな折、シンガポールにいた義兄が家賃70万円の掘り出し物を見つけてくれたので、思い切ってシンガポールに出店した」そう。しかし、現地では思うように沖縄の食材を仕入れることができなかった。そこで、又吉社長は自ら沖縄のメーカーに出向き、泡盛やビールなどを直接買い付けて提供し始めたという。

さらに、又吉社長はこの買い付けルートを活用して、香港にも飲食店を立ち上げた。だが、今度は「沖縄のことを知っている人が少なく、お客が入らない」という問題に直面。そこで、又吉社長は「沖縄の食材や料理をそのまま出しても好まれないから、その土地でアレンジを加えていった」という。これが現地の人々に支持され、同社が展開する飲食店の人気に火がついた。

従業員を家族のように育てる

店舗を各地に展開するにつれて、その地域ごとの商習慣や文化の違いに悩まされることも増えてきた。特に「従業員のマネジメントには苦労した」と

いう。しかし、それでも又吉社長は「素人に近い自分たちが香港・アジアの大きな市場で苦労するのは当たり前だし、現地の習慣や感覚が違うのも当たり前。対話を通じて理解を深め、一つづつ課題を解決していった」そう。時には文化の違いを逆手にとったビジネスで成功を取めたこともある。たとえば、インドネシアはイスラム圏であるため、現地の人たちは豚肉料理を食さないが、ここであえて豚肉料理を提供したのだ。すると、現地の富裕層の華僑たちが同社の店舗を熱烈に支持するようになったという。

まさに柔軟性に富んだ経営を手掛ける同社だが、首尾一貫しているポリシーもある。それが「従業員を家族のように育てる」ことだ。「国や地域が変わっても家族の大切さは変わらない。家族のように接することで、互いが必要とし、大事に思える信頼関係を作ることができると、又吉社長は強調する。分け隔てないこの愛情こそが、同社の成功の秘訣といえそう。



又吉真由美社長

(株)えんグループ沖縄
那覇市上之屋1-20-9
富士家オーシャンビル1F
Tel.098-941-7588
設立2000年
www.en.com.hk

百年企業

老舗企業は長年にわたって培ってきた理念や資産を軸にし
ながらイノベーションを繰り返し、その時代に合ったビジネス
を展開している。その取り組みは企業が存続するための秘訣と
言っても過言ではないだろう。そこで、ここでは九州で活躍す
る百年企業の歩みと改善事例を紹介する。

●伊勢屋旅館

老舗旅館が経営再建に向けて 人材育成に再チャレンジ

九州屈指の温泉地として知られる長
崎・雲仙市の小浜温泉地区。この地区
で最も古く、格式高いとされる「伊勢
屋旅館」だが、つい2、3年前までは
経営不振に陥っていた。窮地から脱す
るために実践したのは、〴〵おもてなし
の心に立ち返り、人を育てることだっ
た。

伊勢屋旅館の創業は1669（寛文
9）年とされている。それより以前は
この地方で伊勢信仰を広める神宮御師
たちの宿泊拠点だったという。「やがて
一般の旅人も泊めるようになり、徐々
に旅館の形に移行したというが、正確
な経緯は不明だ」と第16代目を継承予
定の若旦那、草野洋平さんは話す。

実はこちらの旅館には、創業当時か
ら大正期までの記録がほとんど残され
ていない。今から約80年前にこの地方
を襲った台風によって旅館は壊滅的な
被害を受け、それまでの記録などもす
べて流されてしまったのだという。

直近4代に限ってみると、伊勢屋
旅館の大きな転換期となったのは
1960年代。木造施設を鉄筋に立て
替えるなどして事業はひとつのピーク
を迎えた。その後も堅調に営業を続け
たが、2000年代になると一転して売
上げが伸び悩み、経営危機に陥ってし
まった。

その理由について草野さんは「団体
客の数が激減したため稼働率が低くな
り、経営が一気に傾いてしまった」と

話す。そこで、06年から企業再生に乗
り出したという。

そして、伊勢屋旅館はそこから5年
で見事に再建を果たした。経営危機か
らの脱却に向けてしたことはたった一
つ。それは「従業員の教育を充実させ、
旅館の基本である〴〵おもてなし〴〵を徹
底させること」だった。たとえば接客
面で心掛けているのは「常にお客さま
の意向をくみ取り、それに沿うよう臨
機応変に動くことだ」という。調理で
は「地元の新鮮な海の恵みをすぐ調理
してお出しすることにこだわっている。
宿泊、日帰りを問わず小浜の旬を味わ
えるように、メニューは3カ月ごとに
考えて変更している」という。人件費
をはじめとした安易なコストカットで

住所／長崎県雲仙市
小浜町北本町905
Tel. 0957-74-2121
www.iseyaryokan.co.jp



前列左から2番目が洋平さん、以降、15代目の肇さん、
おかみの有美子さん

も、目新しいサービスの導入でもなく、
極めてシンプルな取り組みにより客足
が伸びていったという。こうした経験
から改めて「企業存続のために最も重
要なのは、人〴〵だと気付いた」そうだ。
さらに草野さんは、従業員や顧客を
大切にできなくなる一因として英米式
の会計方法も挙げる。「四半期などごく
短期での結果が重視され、経営者も従
業員も視野が狭くなり、いつの間にか
人を大切にするという本質を見失って
しまう。英米式の方法を否定するわけ
でないが、長寿企業を守り育てるため
には長期的視点が重要だ」と。困難を
乗り越えてきたからこそ感じる問題点
なのかもしれない。

●(有)糀屋本店

全国的な塩こうじブームの火付け役 伝統食品を復活させリバイバルに成功

大分県佐伯市で300年以上の伝統を持つ(有)糀屋本店。市内でこうじ作りを本業とし、昔ながらの製法を守っているところは数少ないという。近年は自社商品のヒットによって全国的なブームを生み出し、伝統食品の再評価にも成功している。

みそ、しょうゆ、清酒など、日本の食卓に欠かせない発酵食品の原料となるこうじだが、近年、その人気がかつてないほど高まっている。市場調査会社の富士経済が昨年発表した調査結果によると、需要をけん引しているのは加工食品市場、なかでも塩の代わりに万能調味料として使われる塩こうじに代表される「こうじ訴求食品」で、2012年の市場規模は11年の2億円から、なんと31倍増となる62億円に急拡大したという。13年以降も菓子のフレーバーとして使用されることなどで消費はさらに拡大すると見込まれている。

このブーム作りの一翼を担ったの



塩糀は地場産素材を厳選し、職人による手作業だけで仕上げられる

が(有)糀屋本店だ。07年に売り出したオリジナルの「塩糀」が評判となり、その後、各地のメーカーが関連商品を続々と世に送り出したことで、全国で爆発的にこうじファンを生み出すことになった。

塩こうじとは、こうじに塩と水を加え常温発酵させたもの。食材のデンプ

ンやタンパク質などを分解し、食感をやわらかくしたり、うま味をアップさせるほか、最近では酵素の働きによる健康効果にも期待が高まっている。江戸時代の文献にも記述がある伝統食品の一つだが、戦後は一部地域を例外としてその存在はほとんど忘れ去られていたという。

これを掘り起こしたのが、糀屋本店第9代目当主の浅利妙峰さん。「こうじの消費がどんどん減り続け、廃業の可能性も出るなかで起死回生を図るためには、一般生活者向けの自社商品を持つしかない」ということで、古い文献をかき集めて読み漁り、「昔はみそや甘酒以外にも様々な料理に使われていたことを確認し、さらに調味料として現代の食事にも気軽に使えるよう作り直した」という。また、料理研究家としても活動する浅利さんは、各地で料理講習会を開催し、レシピを紹介するなどしてこうじの魅力を伝えていったそう。

販売ではこれまでの地元での店頭販

住所／大分県佐伯市
船頭町14-29
Tel 0120-166-355
www.saikikoujiya.com/



欧米で講習会を開くなど、海外でもこうじの普及を働きかけている浅利さん

売に加え、インターネットを活用した通信販売で主に県外の個人需要を取り込んでいった。特に「昔ながらのこうじ屋が姿を消した都市部で反応がいい」という。

糀屋本店の塩こうじは地場産素材を厳選し、昔ながらの土室で、職人による手作業だけで4日間かけて仕上げられる。こういった設備・手法を残しているところは全国でも非常に珍しく、これが一般消費者の目を引きつけ、けとなり、商品価値をさらに高めることにもつながったようだ。こうした取り組みが一大ブームを巻き起こしたわけだ。まさに老舗による「伝統再発見型」の好例と言える。

復興の力

宮崎県都城市

案内人

鹿島節男所長(写真右)
鹿島昇次長
(鹿島税務会計事務所)



口蹄疫問題と新燃岳の噴火は宮崎県に暗い影を落としました。しかし、宮崎は着実に逆境を跳ね除け、今まで以上に素晴らしい地域資源を生み出し、発信しようとしています。そこで、今回はご当地自慢特別編として、口蹄疫問題と新燃岳の噴火を振り返りながら、ご当地・都城市の「復興の力」にスポットを当てたいと思います。

口蹄疫問題を乗り越えて 日本一の和牛になった宮崎牛

宮崎県はこの数年間に二つの大きな困難に直面しました。

その一つが2010年に発生した口蹄疫問題です。畜産県である宮崎で起こったこの問題は、多くの畜産業者や卸業者、小売業者を苦しめました。事実、宮崎県は口蹄疫問題で約7万頭の和牛を失うのと同時に、風評被害を受けました。

ですが、昨年、宮崎牛はこの困難を乗り越え、「和牛のオリンピック」と称される「第10回全国和牛能力共進会」で見事、各部門の総合得点で順位を決める団体賞で1位を獲得し、2連覇を成し遂げたのです(写真1)。連覇は大会史上初めての快挙ということですから、いかに県内の畜産農家が奮闘したのかが分かります。苦境を乗り越えた宮崎牛は、まさに名実ともに日本一の和牛とすることができているのではないのでしょうか。

また、宮崎県では「宮崎牛日本一2

連覇」を契機とした県産食肉の消費拡大プロモーションも展開しています。

たとえば、昨年12月11日には高級なイメージがある宮崎牛の創作料理発表会が開催されました。当日は河野俊嗣宮崎県知事の立ち会いのもと、料理研究家の石坂美和子さんが提案した宮崎牛ガッチリ寿司、宮崎牛と切り干し大根のさっぱり鍋など、魅力的な料理の数々が並んだそうです。

こうした取り組みとともに、ますます宮崎牛が全国の皆様に親しまれることを心より祈っています。

新燃岳の噴火を機に 安全・安心なまちづくりを

もう一つの困難が2011年に発生した新燃岳(1421m)の噴火です。

同年1月26日、新燃岳の火口から2000m上空まで噴煙が上がるのが確認され、1月27日には52年ぶりとなる爆発的噴火が起こってしまったのです。この噴火に私たち周辺自治体の住



新燃岳の噴煙

民は恐怖心を抱きました。なにせ今までに見たこともないほどの煙が立ち上り、車を走らせると視界がまったくないほどの火山灰が降り注いでいたのですから。

新燃岳から程近い高原町では火砕流の危険性があるとして、避難勧告が発令されるなどしましたが、幸いにして火砕流被害は生じませんでした。しかし、家屋や自動車、道路、田畑などに降り積もった火山灰を除去するのに苦労しました。灰が5cm以上も積もったところもあったのですが、鹿児島県の支援などのおかげでどうにか灰や噴石を処理することができました(写真2)。



2



避難の体制を徹底するなど、防災に関するさまざまな取り組みを展開しています。災害に強い安全・安心なまちづくりに期待したいと思います。

他方、この新燃岳の火山灰を何とか活用できないかという取り組みも進められています。陶芸家の宇都野眺さんは一昨年から粘土に火山灰を混ぜ込んで、独自性溢れた陶器を次々と作り出しています。この「火山灰陶器」は、ややザラリとした質感があるのが特徴で、まさに復興への想いが込められた一品です。市内のお土産屋さんなどにも展示・販売されていますので、火山灰がどのように活用されているのかを実際に見て、触って、お気に召すようでしたら購入してみてください。

国内最大級の莊園「島津荘」が戦国大名「島津家」のルーツ

さて、ここからは都城市が誇る地域資源をいくつか紹介したいと思います。一つ目は都城島津邸です。島津といえば、薩摩を思い出す方が多いと思いますが、実はそのルーツをたどると、ここ都城市に行き着きます。都城には

平安時代、国内最大級の莊園「島津荘」があり、鎌倉時代にこの莊園を源頼朝から任された惟宗忠久これむねたかひさが莊園の名を冠して島津忠久と名乗ったのが始まりだからです。その後、薩摩が島津本家となり、南北朝時代には本家から島津資忠すけただが都城に入って、北郷資忠と名をあらためました。そして江戸時代になると島津本家の命で、北郷家はふたたび島津と名乗ることになったのです。都城にはこの都城島津家に関する史跡がたくさんありますが、なかでもこの都城島津邸はその栄華や歴史を豊富な資料を通して知ることができるスポットです。館内を見て回ると、ちょっと歴史に詳しくなれること請け合いです。たとえば、島津家の家紋は丸の中に十文字が入ったデザインですが、本家は丸と十の字がくっついているのに



博物館として公開されている都城島津邸

対し、都城島津家は微妙に隙間があるなんてことも知ることができますよ。

都城を代表する自然資源 日本の滝百選「関之尾滝」

男滝、女滝、大滝から成る関之尾滝は日本の滝百選にも選ばれているダイナミックな滝です。なかでも、高さ18m、全長40mの大滝は迫力満点、特に滝の目の前にある吊橋からの眺めは圧巻です（写真3）。

滝そのものの迫力もさることながら、この滝にはもうひとつの見所があります。それが滝口の上流に全長600m、幅80mにわたって広がる甌穴群おうけつぐん（小さい瓶のような穴の集まり）です。これは約11万年前に形成された河床の溶結凝灰岩（火砕岩の一種）に、長年にわたって水や砂、石が入ってできたものだと言われています。これほど大規模なものは珍しく、一説によるとフランスにあるポンデスールより大きく、世界一であると言われています（写真4）。

さて、都城市の地域資源はいかだったでしょうか。宮崎県民は口蹄疫問題や新燃岳の噴火から立ち直り、懸命に地域おこしに取り組んでいます。東日本大震災から2年が経過しましたが、被災地の復興も着実に進むように祈念しております。



4



3

- 1 日本一の名譽を得た宮崎牛
- 2 降灰の除去作業の様子
- 3 日本の滝百選にも選ばれている関之尾滝
- 4 関之尾滝にある溶結凝灰岩は世界一の規模

ミロク会計人会連合会の ホームページをリニューアルします ～コミュニティとブランディングの強化を目指して～

本年1月の広報委員会にて、ミロク会計人会連合会のホームページ（HP）をリニューアルすることが決定しました。この4月に、広報委員会内に小委員会を立ち上げ、リニューアルの具体的な施策とその優先順位、スケジュールなどに関して検討を開始し、本格的なリニューアルを進めてまいります。

リニューアルの方向性

連合会HPのリニューアルにおける現時点での方向性は次の3点です。今後、この3つの方向性を基軸として検討を重ね、本格的なリニューアルを実行する予定です。

1. HPにおけるインフラの刷新
2. 会員同士のコミュニティの強化
3. 本会のブランディングの強化

1. HPにおけるインフラの刷新

サイト全体の再構築に合わせて、サイトのデザインを一新。サーバーはクラウドへ移行し拡張性の高い環境の構築を行い、コンテンツ管理システム（CMS）を導入することで、リアルタイムな情報更新を可能

としたサイト構築を目指して、インフラを刷新する予定です。

2. 会員同士のコミュニティの強化

会員間のコミュニケーションをより活性化させ、本会の価値を一層高めるために、ウェブサイトで「コミュニティ機能の仕組み作りをする予定です」。

3. 本会のブランディングの強化

本会の活動内容を積極的に告知すると同時に、その優位性や独自性、世界観を「ミロク会計人会連合会の価値」として形にし、ウェブサイトで発信するなど、本会のブランディング強化につながる施策を実施する予定です。今後のリニューアルの進捗状況につきまして、誌面を通じて随時報告してまいります。



現在の連合会のホームページ

ミロク会計人会連合会＞会員の部屋 <http://www.mirokukai.ne.jp>

会計事務所のデジタルデバイス活用！ ～初級者・入門編～

2013年 情報ネットワーク委員会
デジタル小委員会

PCとタブレットの違い

ここでは、PC（ノートパソコン）とタブレットについてOSや機能などを項目ごとに比較し、それぞれの特徴を記述しています。大きな違いという点では、ローカルとインターネットの違いがポイントです。

名称・画面	OS	インターネット接続	ユーザーインターフェイス
PC（ノートパソコン）	Windowsが主流	LAN回線・Wi-Fi	キーボードやマウス、タッチパネルで操作。高速タイピング可能。
タブレット	画面はタッチ型で、Webや文書などが見やすい	iOS・Androidが主流	タッチペンや指で操作。操作性が高く、持ち運びが容易。画面の向きを変えて見たり、操作が可能。

Androidでの利用

Androidデバイスで業務を参照しようとしても標準のブラウザでPDFファイルは開かない。FireFoxをインストールしたらうまくいきました。

Step1 トップページから「ダウンロード」をクリック

Step2 画面下部の「ダウンロード」をクリック

Step3 画面下部の「ダウンロード」をクリック

Step4 Google Chrome の場合

Step5 Firefox の場合

「会計事務所のデバイス活用法！」 冊子のホームページ掲載のご案内

情報ネットワーク委員会では、「会計事務所のデジタルデバイス活用法！～初級者・入門編～」と題し、巷の電気屋、電話屋を占拠する「スマートフォン」や「タブレット」などの情報をいろいろな切り口で整理し、特徴や違いなどをまとめた冊子を作成しました。

また、会計事務所業務における利用シーン別に「スマートフォン」や「タブレット」

「情報ネットワーク委員会では、（会計事務所のデジタルデバイス活用法！～初級者・入門編～）」も簡単に紹介しています。今回の冊子は、入門編なので既に皆様もどこかで聞いたことのある内容かとは思いますが、会計事務所の業務効率向上やコスト削減に活用できそうな事例のご紹介も引き続き予定しておりますので、ぜひお役立てください。



会計人の リレーエッセイ

九州ミロク会計人会 野崎 地平

「元氣習慣」

我々税理士も体が資本！4～5年前から簡単な体操をしています。

体の動かし方がよく分かりませんでしたので、最初のうちは顧問先のスポーツトレーナーの方に月に1～2回、体操を教えてくださいました。

すっかり体が硬くなってしまっていることにとってもびっくりした記憶があります。

なんでもヨガをやる方に言わせると、体の硬さは心の硬さに比例するとか…。

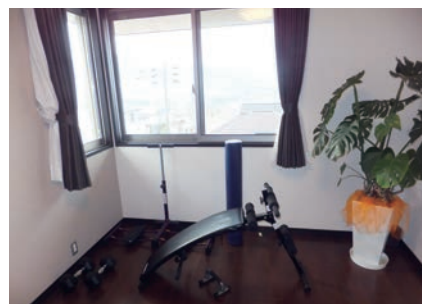
そうか、なるほど、僕の心はこんなにも固く柔軟性を失ってしまっていたのかと反省。

それでも、続けているうちに体を動かすことが楽しくなり、本やテレビで得た知識を加えて、運動メニューは少しずつ増えていきました。

そして現在、朝から次のようなことを30分から1時間かけて行っています。

風呂に入って体を温める↓冷水シャワー↓
脚の運動↓腹筋運動↓背筋運動↓目の運動
(遠くを見て近くを見ての繰り返し)↓舌の運動
(唇と歯の間で舌をぐるぐる回す。滑舌が良くなるそうです)↓ダンベル運動↓足裏
つぼ押し↓ストレッチ↓深呼吸

これらの運動を行うことで、元気が出てきますし、自分自身の体調がよく分かります。また、体を鍛えることは心を強くする効果



もあるようです。

次に食事についてですが、私は朝の体操を始めた頃から朝ご飯抜きの一日二食にしました。

空腹のときに免疫力が上がり体調が整うとのこと

で、食事回数および食事量を減らすことは体に良いという説もあるそうです。

私には、朝ご飯抜きが合っていて、三食食べていた時よりも体調は良くなり、体重も10キロ以上減りました。

最後に万病一元論という昔からの言い伝えといいますが、考え方を紹介します。

全ての病気は腸の調子が悪いことが原因である、逆にいうと腸が健康ならば病気になる。腸の健康状態は排便で分かる。においがきつくない、するつとたくさん毎日出るのが理想的であるというものです。

皆さんはいかがですか？おかげさまで私は体操や食事の効果もあるのだと思いますが、理想的のようです。

まあ、とにかくにも、これからも元気に楽しくやっていこうと思っています。

表紙の写真



「折尾駅」
(福岡県北九州市)

今月の表紙写真は、日本初の立体交差駅として有名なJR折

尾駅。写真の木造駅舎は1916年に完成したものです。鹿児島線と筑豊線が立体交差するホームが特徴的な駅でしたが、乗降客の利便性向上や駅周辺の交通渋滞解消を目的とした高架化の工事に伴い、2012年10月に惜しまれつつも取り壊しが開始されました。2016年度に完成予定の新駅舎には、木造の駅舎にあったベンチなどの部材が活用される予定です。

月刊 税理士事務所 Channel

通巻380号

- 発行 株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-29-1
TEL. 03-5361-6309 (広報・IRチーム)
- 発行人 是枝 周樹
- 編集企画 ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会事務局・広報IRチーム
- 配信制作 東方通信社
- 印刷 株式会社シナノ
- 購読申込 株式会社ミロク情報サービス
- 禁無断転載

※本誌に掲載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

ミロク会計人会 会員様限定!

**無償で
ご提供!**

会員の皆さまへ【リスク分析シミュレーションソフト】の無償提供を開始いたします!
顧問先様に対するサービスのさらなる充実のために是非、ご活用ください。

リスク分析ソフトって?

POINT
1

顧問先様を取り巻くリスクを『可視化』できます!

- 顧問先様の財務状況は業界平均と比べてどのような状況なのか?
- 経営者様に万一があった場合に、どれくらいの資金を用意しておく必要があるのか?
- 経営者様の退職金としてどのくらい準備しておく必要があるのか?
- 業績の低下に備えて財務強化を行うことで、顧問先様の決算書にどのような効果をもたらすのか?

POINT
2

**『ACELINK Navi』『ACELINK NX-Pro』と
データ連動が可能であり、煩雑な入力作業は不要です!**

会計・税務



データ連動

リスクマネジメント



※シミュレーションの一例

POINT
3

簡単な操作で顧問先様の分析・シミュレーションができます!

アイエヌジー生命からの御礼

2011年11月のミロク会計人会連合会様との業務提携に伴い、当提携意義をご理解いただき、多くの会員の皆さまには弊社代理店としてご登録や弊社社業へのご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、2012年は新たに『56店』の会員の皆さまが新たに弊社代理店としてご登録をいただきました。引き続き、本業務提携の内容をご理解の上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

私どもアイエヌジー生命は、今後も会員の皆さまのお力添えをいただきながら、ミロク会計人会連合会様、各单位会様および各地区会様のご発展に寄与して参りますので、引き続き、格別のご高配を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

※このソフトはミロク会計人会 会員様へ無償で配布させていただきます。

※弊社代理店登録をされていない方は、ご使用になれる機能に制限がありますので、ご了承ください。

※ご案内している内容は2013年2月現在のものです。将来的には内容が変更となる場合があります。



アイエヌジー生命保険株式会社